

＜先週の説教から＞

## 『洗礼を受けている』 金刺 英雄 長老

イザヤ 40：1～8 ルカ 23：56b～24：12

週の初めの出来事は 4 福音書で微妙に違いがありますがポイントになる「墓は空だった」は共通しています。

本日示されたルカによる福音書によりますと、輝く衣を着た二人の人が「あの方はここにおられない復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話になったことを思い出さない。人の子は必ず罪人の手に渡され十字架につけられ、三日目に復活することになっている。」と婦人達に教えたのです。

婦人たちは「イエスの言葉を思い出した」と記されています。この「思い出す」は単なる「思い出す」とも考えられますが、9 節の「墓から帰って 11 人と他の人皆に一部始終を知らせた」の文脈からするとかなり復活を信じた「思い出した」と考えられます。ポイントは 11 節の「使徒たちはこの話がたわごとのように思われたので、婦人達を信じなかった。」たわごとを辞書で調べると、ハカハカしい、でたらめ、愚かな話とあります。婦人たちの「思い出した」に比べ弟子たちの「たわごと」は復活の話を全く信じなかったのでしょう。この「たわごとを」ルカは私たちにでは、あなたの信仰はどうですかと問いかけているのです。

十字架の出来事を福音書は弟子たちを通してリアルに述べています。「たわごと」をはじめペトロの否認、ユダヤ人を恐れて戸に鍵を掛けていた弟子たち、人は自分の死に際しかくも弱く信仰がどこかへいってしまうのでしょうか。しかし聖書を読み進めると「たわごと」と言った 11 人の弟子たちがこのあと生かされ命を掛けてキリストを述べ伝えたと記されています。この 50 日後のペンテコステの出来事はスタートでしょう。聖書以外の資料によるとこの 11 人はヤコブの弟のヨハネ以外全員殉教の死を遂げたと記されています。

この世に生きる私たちは生から死へ向かっていると誰でも知っています。しかし聖書は死から生への人生が有ることを教

えています。主イエスの誕生と十字架と復活この信仰のみ人生の希望です。これを確信し洗礼を受けています。

洗礼を考えている友、今すぐ決心して下さい。洗礼を受けている私たちですが、実際の生活では仕事や人間関係に於いて胸をはって信仰者ですなんて言えません(たぶん多くの場合)現実でしょう。だからこそ日曜日ごと礼拝に集められ、罪の告白、赦しの確認、聖書、説教、祈り、献金、そして派遣されて行くのです。そして礼拝と共に大切なことは信仰の友との交わりです。婦人、壮年、ダビデ又祈禱会、各委員会教会掃除、お茶飲み等、人間社会に生きているのです。友との関係は礼拝と並んでとても大切な事です。

\*\*\*\*\*

### 【今週の集会】

\*聖書研究・祈禱会 I. 12月6日(水) 20:00  
II. 12月7日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答  
祈禱主題: 東京神学大学を覚えて  
担当者: (水) 相浦 (木) 金刺  
祈りに覚える人: 寺本さん 富澤さん

### 【教勢報告】

主日礼拝 男 18 女 47 計 65  
祈禱会 I. 男 6 女 3 計 9 II. 男 1 女 8 計 9  
日曜学校 幼稚科 11 小中科 11 計 22  
ひつじ雲の会(11月28日(火)) 男 0 女 5 計 5

\*\*\*\*\*

### 【次週主日礼拝】 12月 10日(日)

聖書: ミカ書 6:1～8  
ローマの信徒への手紙 12:1～2  
説教: 「待降節・ミカ⑩一人よ、何が善なのか？」  
武田 真治 牧師  
讃美歌: 242(1～2)、241(1)、32、聖歌 178、  
519(1～4)、178(1～3)、90(1)

### 【次週当番表】

司式: 金刺長老 奏楽: 勝村 礼拝: 齋藤長老  
献金: 松田 丸茂 受付: 鈴木 橋本  
会堂準備: 飯島 岡本 金刺 中村  
森本

看板: 岩佐 週報: 金刺 お花: 茨木

### 【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会  
礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・長老会  
・会堂管理委員会 ・壮年/婦人/ダビデ 各会  
・聖歌隊練習

# 週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 12月 3日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>